

小論文講演会

～自分の言葉を持つ～

11月20日(土)、四十周年記念館において、2学年を対象に、学研教育みらいの大堀精一氏を招き、小論文講演会が行われた。



講演会の様子

科学の甲子園

～科学者の視点で～

11月14日(日)、「科学の甲子園」栃木大会が宇都宮大学陽東キャンパスにて開催された。

本校からは2年生6人が参加し、疑問や課題に対し、コミュニケーションを取しながら試行錯誤をしていくという、科学者としての手法を学んだ。



左より徳永さん(N1) 坂本さん(N1) 渡辺さん(N1) 鈴木さん(S1) 平田さん(N1) 松本さん(S1)

科学の世界は非常に幅広く一般的な知識では解決できないような難題に、チームで団結して立ち向かわなければいけないと感じました」と語った。

大会の進行は、実際の国連と同様に議論・交渉・採択の手順で行われ、トルコ大使役となつた2人は他国大使役と約12時間の議論

縮・核不拡散」の議題で行われた。

また、公式英語スピーチの

ための文章の作成を行つた。

と交渉を繰り返し、採択の赤信号

を付けて

お互いに

気づき気遣う

交差点

堂々と発表した。

その目先

手元を見るか

正面か

第15回 全日本高校模擬国連大会

11月13日(土)～14日(日)、全日本高校模擬国連大会が淡路夢舞台国際会議場で行われ、N2年1組の伊藤媛香さんと長本朋夏さんが参加した。

この大会は、50校60チームが集結し、今回は「核軍事」が議題となる。伊藤媛香さんと長本朋夏さんが参加した。この大会は、50校60チームが集結し、今回は「核軍事」が議題となる。



長本朋夏さん 伊藤媛香さん

令和3年度 交通 安全 標語

栃木地区高等学校交通問題連絡協議会の一環として、令和3年度の交通安全標準語の作品に、本校からは以下の3作品が選出された。

この評議会における交通安全標語の趣旨は、交通問題について高校生が主体的に取り組むことである。評議会では、各校の作品が発表され、審査員による評議が行われた。

群馬大学説明会

12月3日(金)に、進路探究の一環として2年生の希望者を対象に、群馬大学の理工学部が対面で、共同教育学部、医学部保健学科、情報学部はオンラインで行なわれた。

に考えるというものである。

危険な印

気を付けて

お互いに

気づき気遣う

交差点

堂々と発表した。

その目先

手元を見るか

正面か

有意義な冬休みに

生徒指導部より

君たちは近い将来、社会に出て生きていかなければならない。そのためには自分の考えを相手に伝え、相手の考え方理解しなければいけない。従つて、社会問題に対して多様な視点を持つて向き合い、自分の言葉を持つことが大切である」と述べられた。

具体例として、グローバル化が生み出す諸問題を、格差社会、新型コロナウイルス感染症、SDGsなどと絡めて、生徒と共に考えていった。最後に「グローバル社会では誰も答えを教えてくれない。自分で考え、経験し、判断して歩みだすこと、訓練が必要で、小論文はその準備である」と締めくくつた。生徒は自分のこととにして最後まで真剣に講演会に参加していた。

松本航希さん(S1組)は「科学の甲子園では、一つの課題に個人ではなく団体で取り組むことが多かつたです。日常の学習や自分の案が本当に適しているか、試行錯誤を繰り返しました。課題に向かって全員で取り組むことで協調性が高まり、人に意見を伝えるのに躊躇しなくなりました。また、人の意見を的確に捉える力も身につけることができました。

光陰矢の如しという言葉があるが、早いもので明日から冬期休暇が始まる。国内において新型コロナウイルスの感染者は減少してきましたものの、海外ではいままだ猛威を振るっている状況である。引き続きマスクの着用、手指の消毒といった対策を行い、健康に留意して過ごしてほしい。

冬期休暇は年が改まることが多い、いろいろな意味でこれまでの自分のあり方を振り返り、新しい目標を設定する時もある。保護者に対して、先生や友人に休暇ではあるが、意義ある

対して自分がどのように接してきたのか、新しく1年をどう過ごしていくのか、変わり行く

登下校時は制服を着用。飲酒、喫煙、暴力行為、不正行為は厳禁。

高校生として望ましくない場所への出入りはしない。

外出の際は帰宅時間に注意し、外泊は控える。

交通事故に十分に注意をするとともに、知らない人の甘言やSNSで知り合った顔も知らない人の言葉に惑わされ、事件に巻き込まれることがないように気をつけよう。

以下、冬期休暇中の注意事項を挙げておいた。短い3年生の普通自動車免許取得のための教習所通い

時代の中で自分進むべき道は、といった様々なことを、一度、携帯電話を置いて考えてみよう。

また、年末年始は人の往来も増える時期である。交通事故に十分に注意をする。

・外出の際は帰宅時間に注意し、外泊は控える。

・交通マナー、規則を遵守し、事故等に巻き込まれないよう注意する。

・交通事故に遭遇した際は、負傷者の手当を最優先し、すぐに警察へ連絡、その後担任または学校へ連絡する。

・自転車を利用しながら、また歩きながらのスマートフォンの利用はしない。

職員研修（研究授業）実施



11月22日(月)15時50分から職員研修として研究授業と教科グループ協議が実施された。今回は①グループ学習を取り入れた授業展開の2点を目的として研修を行った。各教科の様子を伝える。

国語科

『清兵衛と瓢箪』を教材とし、清兵衛の人物像と筆者の伝えたかったことを本文の内容から読み取り、グループでまとめて発表するという授業を行った。発表の際には、jamboardを用いてグループの考え方をスライドにまとめた。生徒たちは言葉だけではなく、写真や画像を用いて話し合いをしながら一つのスライドを完成させた。

授業後の教科協議も

3人称単数現在形の肯定文・否定文・疑問文の作り方の授業が行われた。ミスをしてしまいがちな単元であったが、ペアワークで質問し合つたり、iPadを活用して自分の好きなキャラクターについて書いた英文を相互に添削などをした。終始、生徒は意欲的に取り組み、楽しい雰囲気の中で授業が展開された。教科協議では、ICTの有効性を確認すると同時に、今後さらにどのようにICTを授業で活用していくかの意見交換が行われた。

外国語科

jamboardを用いて行い、教員も実際にアプリを使つて、授業におけるICTの活用について意見交換を行つた。今回の研究授業を通じて、国語科全体のスキルアップにつながつた研究授業になつた。

理科

物理基礎「力学的エネルギーの保存」についての授業が行われた。Classroomを使つて小テストを配信し正答率を円グラフで表した

結果、生徒側のデジタルソフトの知識を増やす工夫などが話し合われた。

理科教

物理基礎「力学的エネルギーの保存」についての授業が行われた。Classroomを使つて小テストを配信し正答率を円グラフで表した結果、生徒側のデジタルソフトの知識を増やす工夫などが話し合われた。

【2年生】

模試にも地歴・公民・理科が加わつた。地歴・公民・理科においては、既習

芸術・情報・家庭科

美術でオリジナルキャラクターをデザインする授業が行われた。表現力の方法や想像力の向上を目的としてサーブを撮影し、ボールの回転やスピード、ラケット角度などを分析。生徒自身のサーブを生み出し、その後取り組み、楽しい雰囲気の中で授業が展開された。教科協議では、ICTの有効性を確認すると同時に、今後さらにどのようにICTを授業で活用していくかの意見交換が行われた。

授業後の教科協議

世界史B「隋の統一」と唐の隆盛についての授業が挙げられた。

数学科

图形ソフト「GeoGebra」を用いて9点円の作図とその証明についての授業が行われた。图形ソフトを用いることで、グループで助け合いながら全員が作図を完成させることができた。

また、ソフトで图形を動かしながら観察することで、難しい証明問題にも生徒たちは集中して取り組んでいた。

教科協議では、グループ活動における課題のレベル設定の難しさや、教員側のデジタルソフトの知識を増やす工夫などが話し合われた。

地歴公民科

世界史B「隋の統一」と唐の隆盛についての授業が挙げられた。

行なれた。板書による説明では、教員と生徒が常に対話しながら授業が進められ、グループワークでは、4つのグループに分かれた生徒たちが熱心に具体的な議論をする様子が見られた。

各グループの発表も中身の濃い内容であつた。ICT活用と中国的な地図を使った議論が行なわれた。

【1年生】

夏休み以降、学力変動が大きい時期であり、「分かれ難い」が「苦手」になる時期もある。苦手意識が強くなる前に、この休暇を利用し、演習を重ね、少しでも多くの「分かる」に繋げていこう。

【2年生】

模試にも地歴・公民・理科が加わつた。地歴・公民・理科においては、既習

【3年生】

冬期休暇を迎えるにあたり、各学年で取り組んでほしいことをまとめた。

【進路学習指導部】

【冬期休暇中の学習について】

では、教員と生徒が常に対話

台になる科目である。まず

は全国平均点を下回つてい

る分野から演習に取り組もう。

【冬期休暇中の学習について】

では、教員と生徒が常に対話

台になる科目である。まず

</

第74回全日本バレーボール 高等学校選手権大会

1回戦 1月5日(水) 八女学院(福岡県)戦 東京体育館



チームの平均身長が高くない分、レシーブが堅く、粘り強いプレーをする。速いコンビネーションで相手のブロックを惑わせる。

「応援してくださる方々へ」

春高という大舞台で一戦一勝できるよう、感謝の気持ちを忘れずに全力で戦いたい。応援よろしくお願ひします。

チームの目標 ベスト8
プロックと粘り強いレシーブを強化したことで、ボールが落ちなくなつた。サーブの成功率が高く、攻める分、重い失点にならない。
みどる

キャプテンに
インタビュー



キャプテン
大塚 月楠
(B3年)

第101回全国高等学校 ラグビーフットボール大会

Bシード 2回戦 12月30日(木) 花園ラグビー場



「ホームの目標」 日本一 勝ちにこだわり、一本試合を戦いたい。組合せに関わらず、上位に進出するための力を残りの時間で高めたい。

【みどころ】 「攻める『ディフェンス』で、規律の整った15人で守りきる。チャンスを活かし、今シーズン磨いてきたフォワードのモール、バックスの展開力でチャンスをつかむ。

【応援してくださる方々へ】 日頃の感謝の気持ちを自分たちの戦いぶりで表現したい。応援よろしくお願いします。

キャプテンに
インタビュー



キャプテン
白石 和輝
(B3年)

背番号 ポジション	コートネーム 選手名	学年	身長 最高到達点	選手について
1 ミドルブロッカー	リュウ 鈴木陽菜	B3年	169cm 293cm	高さのあるスパイクと ブロックが武器
	サキ 増田夢加		175cm 290cm	高さとここ一番の 勝負強さ
3 セッター	ナミ 黒木 韶	B3年	166cm 265cm	大きな舞台でも ぶれない精神力
	キラ 檜山知花		170cm 280cm	攻守にわたって安定、 将来のエース候補
5 アウトサイドヒッター	夕工 齋藤咲桜	B2年	167cm 283cm	滞空力に優れ、 キレのあるスパイク
	ユキ 大塚月楠		168cm 275cm	バレーを熟知 司令塔的役割
7 リベロ	ルカ 松田あゆみ	B3年	158cm 258cm	レセプション、ディグ 共に安定感抜群

背番号 ポジション	選手名	学年	身長/体重	選手について
1 PR	木村 陽太	B2年	174cm/100kg	不動の左プロップ
2 HO	吉田 温広	B3年	171cm/90kg	体を張るFWリーダー
3 PR	齋藤 健太	B3年	182cm/120kg	チーム1の巨漢
4 LO	白石 和輝	B3年	178cm/95kg	ザ・キャプテン
5 LO	山口幸之助	A3年	183cm/108kg	攻守の要
6 FL	山科 亮	B3年	178cm/90kg	空中戦が得意
7 FL	長谷川太一	B3年	175cm/84kg	仕事人
8 No.8	小野田輝平	B3年	170cm/84kg	弾丸のような突破力
9 SH	飯野 和音	B3年	170cm/68kg	安定感のあるBKリーダー
10 SO	伊藤龍之介	B2年	169cm/74kg	不動の司令塔
11 WTB	伊藤 大暉	B3年	170cm/75kg	努力家
12 CTB	田中 大誠	B3年	176cm/87kg	バイスキャプテン
13 CTB	千葉 央貴	B3年	174cm/86kg	ジャッカルが得意
14 WTB	武藤 倖吉	B3年	164cm/68kg	元気で声が出る
15 FB	青柳潤之介	B2年	177cm/82kg	抜群の脚力

(土)、第12回1年生大会が栃木市とちぎ木の花スタジアムで開催された。結果は準決勝まで駒を進め、文星芸大附高と対戦、1対3で敗れ3位となつた。

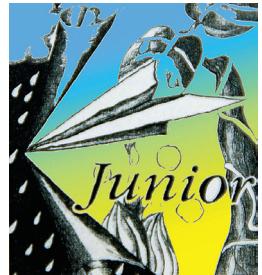
陸上競技部
11月20日(土)、令和3年度第30回関東高等学校女子駅伝競走大会が宇都宮市のカンセキスタジアムとちぎで開催され、本校陸上競技部が栃木県2位として参加した。スタート直後から先頭集団に食らいついて果敢な走りを見せ、1時間15分37秒でゴールした。
結果は46チーム中31位となつたが、記録としては県大会決勝のタイムを20秒上回り、健闘した。

野球部

陸上競技部

校外學習

1年 日光市方面
2年 山梨県北杜市方面
3年 石川県金沢市・岐阜県白川村方面



2、3年生は11月11日(木)から12日(金)の1泊2日、1年生は11月12日(金)に日帰りで校外学習が行われた。

校外学習でそれぞれ何を学び、どのようなことを感じてきたのかを生徒たちの感想も添えて掲載する。



小松菜の収穫

2年生

2年生は、「食を通してSDGsを考える」をテーマに校外学習を行った。一目は「井上農場」を訪れ、「小松菜の収穫や玉葱の苗付け作業を行った。夜は農場経営をボードゲームで体験したり農業従事者の方の話を聞いたりして、仕事への熱意や大変さを知ることができた。

二日目は鳴沢水穴や忍野八海等、富士山麓の自然を堪能した。「玉葱の苗植えは寒い中の作業だったので、なかなか手が動かず、苗を一本一本手く植えることが難しかったです。これを僕よりもっと年

生徒は、それぞれがテーマや散策するコースを決め、おもりも生徒自身で作成して個別に研修を行った。「自主自立、そしてリーダーとなれ」のスローガンを掲げるこの学年の所期の目標を達成できた校外学習となつた。「今回は、実行委員長を務め、日頃できないような経験ができ、自分で計画し

3年生は生徒たちで話し合って行き先を決め、一日目に金沢市、二日目に白川村での校外学習となつた。生徒は、それぞれがテーマや散策するコースを決め、おもりも生徒自身で作成して個別に研修を行った。「責任と義務、当たり前があつてこそこの「自由」がこれほど楽しく気持ちのいいものとは想像もしていませんでした。思う存分楽しんで最高の思い出になりました」

3年生

たところを自由に回らせてもらえて最高でした

(1組 澤美 佳蓮)

「責任と義務、当たり前があつてこそこの「自由」がこれほど楽しく気持ちのいいものとは想像もしていませんでした。思う存分楽しんで最高の思い出になりました」

1年生

ときました。樂しむところと、眞面目にやるところの切り替えをし、自制心を失わぬ校外学習を終えられたと思います。とても幸せな時間でした

(2組 渡辺 大翔)

1年生

1年生は午前に日光東照宮へ、午後に日光二荒山神社への校外学習を行つた。どちらも正式参拝を行つし、説明を受けたり、事前に決めたグループのテーマに沿つて、iPadを使つて調べながらグループで散策をした。

「徳川家康公を祀るだけではなく、彫刻、歴史ある建物が綺麗に残り、本殿の中でも陽明門は、その時代の最高技術を用いて造られていました。そこで本当に綺麗でした」

行事があまりありませんでしたが、皆で自然や文化を体験することができます。嬉しいかったです。そして、歴史的建物を見たことです。中でも陽明門は、その時代の最高技術を用いて造られていましたので本当に綺麗でした。このように日本が誇る世界遺産や自然遺産などを大切にしていきたいです」

1年生は午前に日光東照宮へ、午後に日光二荒山神社への校外学習を行つた。どちらも正式参拝を行つし、説明を受けたり、事前に決めたグループのテーマに沿つて、iPadを使つて調べながらグループで散策をした。



白川郷合掌造り「和田家」にて



